



平成 29 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社プロパスト
代表者名 代表取締役社長 津江 真行
(コード：3236、JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長
兼経営企画部長 矢野 義晃
(TEL. 03-6685-3100)

平成 29 年 5 月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえた上で、平成 28 年 7 月 11 日付「平成 28 年 5 月期 決算短信」において公表いたしました平成 29 年 5 月期の通期業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、当社が保有している固定資産の評価の見直しを行ったことに伴い、減損損失等に関する特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の通期業績予想数値の修正（平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,902	1,094	569	478	16.93
今回修正予想 (B)	14,874	1,169	810	506	17.91
増減額 (B-A)	971	74	240	27	—
増減率	7.0%	6.8%	42.3%	5.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 5 月期)	12,532	904	559	305	11.13

2. 修正の理由

平成 29 年 5 月期の通期業績予想における売上高については、前回予想値を 971 百万円上回る 14,874 百万円となる見込みであります。主な要因としては、分譲開発事業が一部のプロジェクト

トの販売時期が遅れたことに伴う販売進捗の遅れにより当初計画を562百万円下回ったものの、バリューアップ事業において収益ビルの新規物件の取得及び売却が想定以上に進捗したことにより当初計画を1,527百万円上回る売上高を計上したことによるものであります。

営業利益については、前回予想値を74百万円上回る1,169百万円となる見込みであります。主な要因としては、バリューアップ事業における物件売却が進展したことが寄与しております。

経常利益については、前回予想値を240百万円上回る810百万円となる見込みであります。これは、分譲開発事業及びバリューアップ事業における借入条件の改善等により利益率が改善したことが寄与しております。

当期純利益については、前回予想値を27百万円上回る506百万円となる見込みであります。以下の理由により、減損損失等に関する特別損失を218百万円計上することにより、当期純利益については、506百万円となる見込みであります。

3. 特別損失の内容

(1) 損失発生の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失等に関する特別損失を計上する見込みとなりました。

(2) 損失金額

平成29年5月期第4四半期会計期間において、特別損失を218百万円計上する見込みであります。

以上